

「案内標識」(signpost) を、そのレベルとタイプの観点から、どのように分析できるか説明することにします。これを理解することによって、英文リーディングがはるかに簡単になることがわかってもらえることと思います。

【1】案内標識のレベル ▶▶▶ 役割と傾向を理解しよう

ここでは案内標識を **low-level** (低位) と **high-level** (高位) というレベルで分類することにします。

高位の案内標識 (例: **first**, **the next point is**, **on the other hand**, **however**, **nevertheless**, **in conclusion** など) は段落を展開させたり、つないだりする上で、低位の案内標識 (例: **and**, **but**, **then**, **also** など) よりも重要な役割を果たす場合が多いといえます。

もちろん、この2つの区分は絶対的なものではなく、みなさんが、それらを単に暗記してもあまり意味はありません。したがって、いきなりそれらの語句の一覧表をあげるまえに、案内標識とはどんなものなのか、そして、それらが用いられる場合にはどんな傾向があるのかを考えることにします。

それぞれの案内標識を次のように定義します。

- ① **高位** の案内標識 ➡ 読み手を段落から段落へと導いたり、段落の中で筆者が論を導くのに用いられる。
- ② **低位** の案内標識 ➡ 重要でない点をつなげたり、あるいは段落の中で肝要ではない補助的なことを述べるのに用いられる。

次にあげる図解は段落・文章の中の案内標識のひとつの理想的な配置を示したものです。高位の案内標識は太字体、低位の案内標識は(太字の)イタリック体で示しています。

| |
|--|
| First ,..... <i>and also</i>,, |
|, <i>but</i> <i>Similarly</i> |
| |
| However, <i>as well as</i> Furthermore , |
| <i>then</i> <i>and</i>,, <i>for example</i> ,; |
| |
| the main point <i>because</i> |
| So therefore <i>without</i> |

高位の案内標識は文の始めに、また低位の案内標識はしばしば文の中ほどにくる傾向があることに気づいたことと思います。

次にあげるのは、高位および低位に分類した案内標識の一覧表(代表的なもの)です。これは、こうした語・句が案内標識としての役割を果たすということを示すためであって、先に述べたように、これらは絶対的なものではありません。場合によっては、低位の案内標識が高位のそれになることもあります。

| HIGH LEVEL (高位) | LOW LEVEL (低位) |
|----------------------------------|------------------------------|
| first (最初に) | and (そして) |
| next (次に) | but (しかし) |
| lastly (最後に) | so (それで) |
| in conclusion (結論として) | then (それから) |
| in particular (特に) | now (今) |
| specifically (特に) | when (...のときに、...すると) |
| moreover (その上、さらに) | for instance (たとえば) |
| in addition (加えて) | for example (たとえば) |
| what is more (おまけに) | and also (そしてまた) |
| furthermore (なおその上に) | though (...だが) |
| however (しかしながら) | although (...だとしても) |
| on the other hand (その一方で) | whereas (その一方で) |
| consequently (結局) | therefore (したがって) |
| as a result (結果的に) | in fact (実際には) |